

令和 4 年度

公共下水道事業会計予算書

京都府木津川市

目 次

総 則	1
業務の予定量	1
収益的収入及び支出	1
資本的収入及び支出	1
債務負担行為	2
企 業 債	3
一時借入金	3
予定支出の各項の経費の金額の流用	3
議会の議決を経なければ流用することのできない経費	..	3
他会計からの補助金	4
重要な会計方針に係る事項に関する注記	5
実 施 計 画 (収益的収入及び支出)	7
〃 (資本的収入及び支出)	1 3
給与費明細書	1 7
予定キャッシュ・フロー計算書 (当年度分)	2 9
予定損益計算書 (前年度分)	3 0
予定貸借対照表 (前年度分)	3 1
予定貸借対照表 (当年度分)	3 3
債務負担行為に関する調書	3 5

令和4年度木津川市公共下水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和4年度木津川市公共下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 排水戸数	28, 500戸
(2) 年間総排水量	7, 300, 000 m ³
(3) 1日平均排水量	20, 000 m ³
(4) 主要な建設改良事業	
①管渠面整備事業	
②施設更新事業	
③流域下水道建設費負担事業	

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入

第1款 下水道事業収益	2, 419, 008千円
第1項 営業収益	1, 014, 527千円
第2項 営業外収益	1, 404, 480千円
第3項 特別利益	1千円

支出

第1款 下水道事業費用	2, 419, 008千円
第1項 営業費用	2, 285, 807千円
第2項 営業外費用	130, 001千円
第3項 特別損失	200千円
第4項 予備費	3, 000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額541, 735千円は、過年度分損益勘定留保資金49, 722千円及び当年度分損益勘定留保資金492, 013千円で補てんするものとする。)

収入		
第1款 資本的収入	9 8 7 , 5 7 9 千円	
第1項 企 業 債	5 9 5 , 8 0 0 千円	
第2項 他会計負担金	6 3 , 8 7 7 千円	
第3項 他会計補助金	5 7 , 3 4 8 千円	
第4項 国庫補助金	2 6 9 , 0 0 0 千円	
第5項 その他資本的収入	1 , 5 5 4 千円	
支出		
第1款 資本的支出	1 , 5 2 9 , 3 1 4 千円	
第1項 建設改良費	9 0 7 , 5 0 1 千円	
第2項 企業債償還金	6 2 1 , 8 1 1 千円	
第3項 積立金	2 千円	
(債務負担行為)		
第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。		
事　　項	期　　間	限　度　額
加茂浄化センター監視制御改築工事 (日本下水道事業団委託)	令和3年度から 令和4年度まで	2 0 0 , 0 0 0 千円
加茂浄化センターポンプ室等建設工事 (日本下水道事業団委託)	令和4年度から 令和5年度まで	1 4 5 , 5 0 0 千円
加茂浄化センター水処理設備工事 (日本下水道事業団委託)	令和4年度から 令和5年度まで	1 1 9 , 2 5 0 千円
加茂浄化センター電気設備工事 (日本下水道事業団委託)	令和4年度から 令和5年度まで	3 5 5 , 7 5 0 千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利 率	償還の方法
公共下水道事業	391,400千円	証書借入 又は 証券発行	年4.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するところによる。 ただし、企業財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は、繰上償還若しくは低利に借換することができる。
流域下水道事業	204,400千円			
計	595,800千円	—	—	—

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、500,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することのできる場合は、次のとおりと定める。

(1) 下水道事業費用 営業費用と営業外費用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 107,465千円

(他会計からの補助金)

第10条 公共下水道事業に助成するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、327,928千円、その他会計からこの会計へ補助を受ける金額は、7,572千円である。

令和4年2月24日提出

木津川市長 河井 規子

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

定額法により減価償却を行う。

主な耐用年数	建物	50年
	構築物	10年～50年
	機械及び装置	6年～30年
	工具器具及び備品	4年～15年

・無形固定資産

定額法により減価償却を行う。

主な耐用年数	施設利用権	38年
--------	-------	-----

(2) 引当金の計上方法

・退職給付引当金

職員の退職手当については、一般会計がその全額を負担することになっているため、退職給付引当金は計上していない。

・賞与等引当金・法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給とそれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込み額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

・貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、回収不能と見込まれる額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2 予定キャッシュ・フロー計算書に係る事項

(1) 予定キャッシュ・フロー計算書の作成方法

作成方法は、間接法により作成する。

3 予定貸借対照表等に関する事項

(1) 企業債に関する事項

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、4,404,028千円である。

(2) 引当金の取崩し

貸倒引当金を取り崩す場合、取り崩す額を貸倒引当金から減額し、同額を未収金から減額する見込みである。

また、翌年度6月に賞与等引当金から8,405千円を取り崩し、賞与等を支払う見込みである。

4 セグメント情報

(1) セグメントの概要

木津川市公共下水道事業会計では、公共下水道事業の単一セグメントのため、記載を省略している。

令和4年度木津川市公共下水道事業会計予算実施計画

1. 収益的収入及び支出

(1) 収 入

款	項	目	予 定 額
1 . 下水道事業収益			2, 4 1 9, 0 0 8
	1 . 営業収益		1, 0 1 4, 5 2 7
	1 . 下水道使用料	9 9 3, 8 3 5	
	2 . 他会計負担金	1 9, 3 7 6	
	3 . その他営業収益	1, 3 1 6	
	2 . 営業外収益	1, 4 0 4, 4 8 0	
	1 . 他会計負担金	3 1 9, 4 6 9	
	2 . 他会計補助金	2 7 8, 1 5 2	
	3 . 長期前受金戻入	8 0 6, 4 4 5	
	4 . 雜収益	4 1 4	
	3 . 特別利益		1
	1 . その他特別利益	1	
収 入 合 計			2, 4 1 9, 0 0 8

(単位：千円)

備 考		
1 . 下水道使用料	9 9 3, 8 3 5	
1 . 雨水処理負担金	1 9, 3 7 6	雨水負担分
1 . 下水道手数料	1, 3 1 6	排水設備申請審査・検査手数料 他
1 . 一般会計負担金	3 1 9, 4 6 9	
1 . 一般会計補助金	2 7 0, 5 8 0	
2 . その他会計補助金	7, 5 7 2	
1 . 長期前受金戻入	8 0 6, 4 4 5	
1 . 占用料	4 1 3	下水道財産占用料
2 . その他雑収益	1	
1 . その他特別利益	1	

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額
1 . 下水道事業費用			2, 4 1 9, 0 0 8
	1 . 営業費用		2, 2 8 5, 8 0 7
	1 . 管渠費	2 0, 0 2 5	

備 考		
1 . 備消耗品費	5 0	
2 . 光熱水費	4, 2 0 0	マンホールポンプ稼働用電気代
3 . 通信運搬費	1, 0 8 1	マンホールポンプ通報用電話代
4 . 委託料	9, 5 7 2	マンホールポンプ維持管理業務委託料 他
5 . 使用料	6	電波利用料
6 . 賃借料	2 6 6	土地賃借料
7 . 修繕費	2, 8 0 0	管渠修繕料 他
8 . 材料費	5 0	
9 . 工事請負費	2, 0 0 0	管渠等管理工事費

款	項	目	予定額
		2 . 处理場費	1 2 0 , 2 2 0
		3 . 普及指導費	6 0 0
		4 . 業務費	7 2 , 5 2 1
		5 . 総係費	1 0 5 , 0 1 6

備考		
1 . 備消耗品費	1 0 0	
2 . 燃料費	2 4 9	施設稼働用ガス、重油代
3 . 光熱水費	1 3 , 3 6 0	施設稼働用電気、水道代
4 . 委託料	9 8 , 4 0 3	運転管理等委託料 他
5 . 修繕費	8 , 0 0 0	処理場修繕料 他
6 . 保険料	1 0 8	下水道賠償責任保険料
1 . 補助及び交付金	6 0 0	水洗便所改造費助成金
1 . 委託料	6 9 , 4 2 1	下水道使用料徴収事務委託料 他
2 . 貸倒引当金繰入額	3 , 1 0 0	
1 . 報酬	1 , 0 4 0	会計年度任用職員 1 名分
2 . 給料	3 1 , 7 1 8	職員 7 名分、再任用職員 1 名分
3 . 手当	1 5 , 5 9 8	期末手当 他
4 . 賞与引当金繰入額	4 , 3 7 1	翌年度賞与分（12月～3月分）
5 . 法定福利費	1 4 , 0 6 9	職員共済組合負担金 他
6 . 法定福利費引当金繰入額	8 5 6	翌年度法定福利費分（12～3月分）
7 . 旅費	7 2	出張旅費 他
8 . 備消耗品費	1 8 0	書籍代 他
9 . 燃料費	1 2 2	公用車燃料費
10 . 印刷製本費	2 0	納付書印刷費
11 . 通信運搬費	4 0	郵送料
12 . 委託料	2 9 , 4 4 8	公営企業会計システム導入等委託料 他
13 . 手数料	2 7	車検手数料
14 . 使用料	1 6 5	起債管理システム使用料
15 . 貸借料	2 , 8 8 3	事務所貸借料
16 . 修繕費	4 1 6	車検修繕料 他
17 . 負担金	3 , 8 7 3	人件費負担金 他
18 . 保険料	1 0 9	自動車損害保険料
19 . 公課費	9	自動車重量税

款	項	目	予 定 額
		6 . 流域下水道維持管理費	6 2 2 , 3 4 5
		7 . 減価償却費	1 , 3 4 5 , 0 8 0
	2 . 営業外費用		1 3 0 , 0 0 1
		1 . 支払利息及び企業債利息	1 2 5 , 0 0 0
		2 . 消費税及び地方消費税	5 , 0 0 0
		3 . その他営業外費用	1
	3 . 特別損失		2 0 0
		1 . 過年度損益修正損	2 0 0
	4 . 予備費		3 , 0 0 0
		1 . 予備費	3 , 0 0 0
支 出 合 計			2 , 4 1 9 , 0 0 8

備 考		
1 . 負担金	6 2 2 , 3 4 5	流域下水道維持管理負担金 他
1 . 有形固定資産減価償却費	1 , 0 5 0 , 3 1 2	構築物減価償却費 他
2 . 無形固定資産減価償却費	2 9 4 , 7 6 8	施設利用権減価償却費
1 . 企業債利息	1 2 4 , 6 6 0	
2 . 資本費平準化債利息	1 4 1	
3 . 一時借入金利息	1 9 9	
1 . 消費税及び地方消費税	5 , 0 0 0	
1 . その他雑支出	1	
1 . 過年度損益修正損	2 0 0	下水道使用料還付金
1 . 予備費	3 , 0 0 0	

2. 資本的収入及び支出

(1) 収 入

款	項	目	予 定 額
1 . 資本的収入			9 8 7 , 5 7 9
1 . 企業債			5 9 5 , 8 0 0
	1 . 企業債		5 9 5 , 8 0 0
2 . 他会計負担金			6 3 , 8 7 7
	1 . 他会計負担金		6 3 , 8 7 7
3 . 他会計補助金			5 7 , 3 4 8
	1 . 他会計補助金		5 7 , 3 4 8
4 . 国庫補助金			2 6 9 , 0 0 0
	1 . 国庫補助金		2 6 9 , 0 0 0
5 . その他資本的収入			1 , 5 5 4
	1 . 基金		2
	2 . 負担金		1 , 5 5 2
収 入 合 計			9 8 7 , 5 7 9

(単位 : 千円)

備 考		
1 . 下水道事業債	5 9 5 , 8 0 0	公共下水道事業債、流域下水道事業債
1 . 一般会計負担金	6 3 , 8 7 7	
1 . 一般会計補助金	5 7 , 3 4 8	
1 . 公共下水道国庫補助金	2 6 9 , 0 0 0	社会資本整備総合交付金、防災・安全社会資本整備交付金
1 . 基金	2	
1 . 負担金	1 , 5 5 2	公共土木積算システム使用料水道負担金

(2) 支出

款	項	目	予定額
1 . 資本的支出			1, 5 2 9, 3 1 4
	1 . 建設改良費		9 0 7, 5 0 1
		1 . 公共下水道費	7 0 2, 9 3 2
		2 . 流域下水道費	2 0 4, 5 6 9
	2 . 企業債償還金		6 2 1, 8 1 1
		1 . 企業債償還金	6 2 1, 8 1 1
	3 . 積立金		2
		1 . 基金積立金	2
支 出 合 計			1, 5 2 9, 3 1 4

(単位：千円)

備考		
1 . 給料	1 7, 7 4 6	職員4名分
2 . 手当	1 0, 5 9 0	期末手当 他
3 . 賞与引当金繰入額	2, 6 5 4	翌年度賞与分(12月～3月分)
4 . 法定福利費	8, 2 9 9	職員共済組合負担金 他
5 . 法定福利費引当金繰入額	5 2 4	翌年度法定福利費分(12月～3月分)
6 . 旅費	1 7 7	出張旅費
7 . 備消耗品費	6 0 0	コピー代 他
8 . 燃料費	2 0 3	公用車燃料費
9 . 印刷製本費	5 0	図面青焼代
10 . 委託料	3 1 7, 8 4 0	測量・設計委託料
11 . 貸借料	3, 2 4 8	公共土木積算システム使用料 他
12 . 工事請負費	2 8 0, 4 4 2	
13 . 補償費	6 0, 3 3 2	支障物件等移設補償費
14 . 負担金	2 2 7	研修参加負担金
1 . 負担金	2 0 4, 5 6 9	流域下水道建設事業負担金 他
1 . 企業債償還金	6 1 5, 2 7 6	
2 . 資本費平準化債償還金	6, 5 3 5	
1 . 財政調整基金積立金	2	

給 与 費

明 細 書

1 総 括

区 分	職 員 数		給	
	特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)
本 年 度	—	(1) 12	1,040	49,464
前 年 度	—	(1) 12	1,018	47,376
比 較	—	(0) 0	22	2,088

※ () 内は、短時間勤務職員数の外書きである。

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	地域手当 (千円)	通勤手当 (千円)
	本年度	1,212	1,302	3,041	701
	前年度	1,734	630	2,947	755
	比 較	△ 522	672	94	△ 54

与 費		法定福利費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
手 当 (千円)	計 (千円)			
33,213	83,717	23,748	107,465	
32,856	81,250	22,874	104,124	
357	2,467	874	3,341	

管理職員特別勤務手当 (千円)	管理職手当 (千円)	児童手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	時 間 外 勤務手当 (千円)	賞与引当金 繰 入 分 (千円)
60	1,631	360	7,852	6,288	3,741	7,025
42	1,161	980	7,829	5,804	4,244	6,730
18	470	△ 620	23	484	△ 503	295

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区分	職員数		給	
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)
本年度	—	(0) 12	0	49,464
前年度	—	(0) 12	0	47,376
比較	—	(0) 0	0	2,088

※ () 内は、短時間勤務職員数の外書きである。

手当の内訳	区分	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	地域手当 (千円)	通勤手当 (千円)
		本年度	1,212	1,302	3,041
	前年度	1,734	630	2,947	755
	比較	△ 522	672	94	△ 54

(2) 会計年度任用職員

区分	職員数		給	
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)
本年度	—	(1) 0	1,040	0
前年度	—	(1) 0	1,018	0
比較	—	(0) 0	22	0

※ () 内は、短時間勤務職員数の外書きである。

手当の内訳	区分	扶養手当 (千円)	住居手当 (千円)	地域手当 (千円)	通勤手当 (千円)
		本年度	0	0	0
	前年度	0	0	0	0
	比較	0	0	0	0

与 費		法定福利費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
手 当 (千円)	計 (千円)			
33,005	82,469	23,740	106,209	
32,639	80,015	22,866	102,881	
366	2,454	874	3,328	

管理職員特別勤務手当 (千円)	管理職手当 (千円)	児童手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	時 間 外 勤務手当 (千円)	賞与引当金 繰入分 (千円)
60	1,631	360	7,644	6,288	3,741	7,025
42	1,161	980	7,612	5,804	4,244	6,730
18	470	△ 620	32	484	△ 503	295

与 費		法定福利費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
手 当 (千円)	計 (千円)			
208	1,248	8	1,256	
217	1,235	8	1,243	
△ 9	13	0	13	

管理職員特別勤務手当 (千円)	管理職手当 (千円)	児童手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	時 間 外 勤務手当 (千円)	賞与引当金 繰入分 (千円)
0	0	0	208	0	0	0
0	0	0	217	0	0	0
0	0	0	△ 9	0	0	0

2 紙料及び職員手当の増減額の明細

区分	増減額(千円)	増減事由別内訳(千円)
給料	2,088	給与改定に伴う増減分 0
		昇給に伴う増加分 426
		その他の増減分 1,662
手当	357	制度改正に伴う増減分 △754
		その他の増減分 1,111

説明	備考
給料改定率 0.00%	
昇給率 0.92%	
職員の異動等によるもの	
期末手当改正	
職員の異動等によるもの	

3 紙料及び職員手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区分		分	
令和4年1月1日現在	平均給料月額(円)		
	平均給与月額(円)		
	平均年齢(歳)		
令和3年1月1日現在	平均給料月額(円)		
	平均給与月額(円)		
	平均年齢(歳)		

一般行政職	技能労務職
340,533	—
410,630	—
48.1	—
335,217	—
397,842	—
48.4	—

(2) 初任給

区分	一般行政職 (円)	技能労務職 (円)
高校卒	160,100	—
大学卒	188,700	—

国の制度
一般行政職(円)
150,600
182,200

(3) 級別職員数

区分	一般行	
	級	職員数(人)
令和4年1月1日現在	1級	()
	2級	() 2
	3級	() 1
	4級	() 6
	5級	() 2
	6級	()
	7級	() 1
	計	() 12
令和3年1月1日現在	1級	()
	2級	() 1
	3級	() 3
	4級	() 6
	5級	() 1
	6級	()
	7級	() 1
	計	() 12

※ () 内は、再任用短時間勤務職員数の外書きである。

(級別の基準となる職務)

区分	1級	2級	3級	4級
一般行政職	主事補	主事	係長	課長補佐

政職	技能労務職		
構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)
()	1級	() 0	() 0.0
() 16.7	2級	() 0	() 0.0
() 8.3	3級	() 0	() 0.0
() 50.0	4級	() 0	() 0.0
() 16.7	5級	() 0	() 0.0
()	6級	() 0	() 0.0
() 8.3	7級	() 0	() 0.0
() 100.0	計	() 0	() 0.0
()	1級	() 0	() 0.0
() 8.4	2級	() 0	() 0.0
() 25.0	3級	() 0	() 0.0
() 50.0	4級	() 0	() 0.0
() 8.3	5級	() 0	() 0.0
()	6級	() 0	() 0.0
() 8.3	7級	() 0	() 0.0
() 100.0	計	() 0	() 0.0

5級	6級	7級
課長	次長	部長

(4) 昇給

区分		合計
本年度	職員数 (A) (人)	12
	昇給に係る職員数 (B) (人)	9
	号給數別内訳	
	1号給 (人)	0
	2号給 (人)	0
	3号給 (人)	1
	4号給 (人)	8
	6号給 (人)	0
	8号給 (人)	0
	比率 (B) / (A) (%)	75.0
前年度	職員数 (A) (人)	12
	昇給に係る職員数 (B) (人)	10
	号給數別内訳	
	1号給 (人)	0
	2号給 (人)	0
	3号給 (人)	1
	4号給 (人)	9
	6号給 (人)	0
	8号給 (人)	0
	比率 (B) / (A) (%)	83.3

(5) 期末・勤勉手当

区分	支給期別支給率	
	6月(月分)	12月(月分)
本年度	(1. 125)	(1. 125)
	2. 150	2. 150
前年度	(1. 175)	(1. 175)
	2. 225	2. 225
国の制度	(1. 175)	(1. 175)
	2. 225	2. 225

代表的な職種		
一般行政職	技能労務職	
12	—	
9	—	
0	—	
0	—	
1	—	
8	—	
0	—	
0	—	
75.0	—	
12	—	
10	—	
0	—	
0	—	
1	—	
9	—	
0	—	
0	—	
83.3	—	

支給率計 (月分)	職制上の段階・ 職務の級等による 加算措置	備考
(2. 250) 4. 300	有	
(2. 350) 4. 450	有	
(2. 350) 4. 450	有	

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)
支給率等	24. 586875	33. 27075	47. 709
国 の 制 度 (支給率等)	24. 586875	33. 27075	47. 709

最 高 月 数 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備 考
47. 709	定年前早期退職特例措置 (3~45%加算)	
47. 709	定年前早期退職特例措置 (3~45%加算)	

(7) 地域手当

支給対象地域	市内全域
支給率 (%)	6
支給対象職員数 (人)	12
国の指定基準に基づく支給率 (%)	6

(8) 特殊勤務手当

区分	全職種
給料総額に対する比率 (%)	0.0
支給対象職員の比率 (令和4年1月1日現在) (%)	0.0
代表的な特殊勤務手当の名称	

代 表 的 な 職 種	
一般行政職	技能労務職
0.0	—
0.0	—

(9) その他の手当

区分	国 の 制 度 と の 同 異
扶養手当	同
居住手当	同
通勤手当	同

差 異 の 内 容

令和4年度木津川市公共下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	228
減価償却費	1,345,080
引当金の増減額（△は減少）	△ 26
長期前受金戻入額	△ 806,445
支払利息	125,000
未収金の増減額（△は増加）	△ 35,075
未払金の増減額（△は減少）	7,561
その他資産の増減額（△は増加）	△ 46,319
小計	590,004
利息の支払額	△ 125,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	465,004

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 706,110
無形固定資産の取得による支出	△ 204,569
国庫補助金等による収入	318,500
他会計負担金による収入	63,877
負担金による収入	1,410
一般会計からの繰入金による収入	57,348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 469,544

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	636,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 621,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,489

資金増加額	9,949
資金期首残高	38,069
資金期末残高	48,018

令和3年度 木津川市公共下水事業会計予定損益計算書（前年度分）

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1. 営業収益			
(1) 下水道使用料	872,342		
(2) 他会計負担金	19,376		
(3) その他営業収益	3,001	894,719	
2. 営業費用			
(1) 管渠費	17,883		
(2) 処理場費	112,720		
(3) 普及指導費	700		
(4) 業務費	63,007		
(5) 総係費	76,291		
(6) 流域下水道維持管理費	505,877		
(7) 減価償却費	1,336,455	2,112,933	
営業損失			1,218,214
3. 営業外収益			
(1) 他会計負担金	347,905		
(2) 他会計補助金	202,813		
(3) 長期前受金戻入	804,374		
(4) 雜収益	340	1,355,432	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債利息	136,894		
(2) その他営業外費用	1	136,895	1,218,537
経常利益			323
5. 特別利益			
(1) その他特別利益	1		
6. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	164	164	△ 163
当年度純利益			160
前年度繰越利益剰余金			509
当年度未処分利益剰余金			669

令和3年度 木津川市公共下水道事業会計予定貸借対照表（前年度分）

(令和4年3月31日)

(単位 千円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土 地	651,099
イ 建 物	112,716
減価償却累計額	△ 22,996
	89,720
ウ 構 築 物	35,716,202
減価償却累計額	△ 4,918,497
	30,797,705
エ 機 械 及 び 装 置	711,423
減価償却累計額	△ 294,703
	416,720
オ 工 具 、 器 具 及 び 備 品	3,871
減価償却累計額	△ 2,892
カ 建 設 仮 勘 定	979
有形固定資産合計	3,195
	31,959,418
(2) 無形固定資産	
ア 施 設 利 用 権	4,570,923
無形固定資産合計	4,570,923
(3) 投資その他の資産	
ア 基 金	30,503
投資その他の資産合計	30,503
固定資産合計	36,560,844

2 流動資産

(1) 現 金 預 金	38,069
(2) 未 収 金	322,700
貸 倒 引 当 金	△ 3,000
流動資産合計	357,769

資産合計

36,918,613

負債の部

3 固定負債

(1) 企 業 債	
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,153,014
イ そ の 他 の 企 業 債	18,786
企 業 債 合 計	
固 定 负 債 合 計	<u>7,171,800</u>
	7,171,800

4 流動負債

(1) 企 業 債	
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	615,275
イ そ の 他 の 企 業 債	6,535
企 業 債 合 計	
(2) 未 払 金	
(3) 引 当 金	
ア 賞 与 引 当 金	7,143
イ 法 定 福 利 費 引 当 金	1,403
引 当 金 合 計	
(4) そ の 他 流 動 负 債	
ア 預 り 金	500
そ の 他 流 動 负 債 合 計	
流 動 负 債 合 計	<u>500</u>
	925,917

5 繰延収益

(1) 長 期 前 受 金	26,212,009
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 4,010,230
繰延収益合計	
負 債 合 計	<u>22,201,779</u>
	30,299,496

資本の部

6 資本金

(1) 自 己 資 本 金	6,142,095
資本金合計	6,142,095

7 剰余金

(1) 資本剰余金	
ア 寄 附 金	5,808
イ 他 会 計 負 担 金	68,539
ウ 工 事 負 担 金	61,710
エ 国 庫 補 助 金	309,484
オ 受 贈 財 产 評 価 額	308
カ そ の 他 資 本 剰 余 金	30,503
資本剰余金合計	476,352
(2) 利 益 剰 余 金	
ア 当 年 度 未 处 分 利 益 剰 余 金	670
利 益 剰 余 金 合 計	
剩 余 金 合 計	<u>670</u>
資本合計	<u>477,022</u>
	<u>6,619,117</u>

負債資本合計

36,918,613

令和4年度 木津川市公共下水道事業会計予定貸借対照表（当年度分）

(令和5年3月31日)

(単位 千円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土 地	651,099
イ 建 物	112,716
減価償却累計額	△ 27,183
ア 建 物	85,533
ウ 構 築 物	36,419,135
減価償却累計額	△ 5,917,925
ア 構 築 物	30,501,210
エ 機 械 及 び 装 置	711,423
減価償却累計額	△ 341,022
ア 機 械 及 び 装 置	370,401
オ 工 具 、 器 具 及 び 備 品	3,871
減価償却累計額	△ 3,269
ア 工 具 、 器 具 及 び 備 品	602
カ 建 設 仮勘定	3,178
有形固定資産合計	31,612,023
(2) 無形固定資産	
ア 施設利用権	4,480,724
無形固定資産合計	4,480,724
(3) 投資その他の資産	
ア 基 金	30,505
投資その他の資産合計	30,505
固定資産合計	36,123,252

2 流動資産

(1) 現金預金	48,018
(2) 未収金	
貸倒引当金	357,775
流動資産合計	△ 3,100 354,675

資産合計

36,525,945

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債	
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,199,498
イ その他の企業債	12,251
企 業 債 合 計	
固 定 负 債 合 計	<u>7,211,749</u>
	7,211,749

4 流動負債

(1) 企業債	
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	589,816
イ その他の企業債	6,535
企 業 傷 合 計	
(2) 未 払 金	
(3) 引 当 金	
ア 賞与引当金	7,025
イ 法定福利費引当金	1,380
引 当 金 合 計	
(4) そ の 他 流 動 负 債	
ア 預 り 金	500
そ の 他 流 動 负 債 合 計	
流 動 负 債 合 計	<u>500</u>
	907,878

5 繰延収益

(1) 長期前受金	
(2) 長期前受金収益化累計額	26,603,647
繰延収益合計	△ 4,816,675
負 債 合 計	<u>21,786,972</u>
	29,906,599

資本の部

6 資本金

(1) 自己資本金	
資本金合計	<u>6,142,095</u>

6,142,095

7 剰余金

(1) 資本剰余金	
ア 寄附金	5,808
イ 他会計負担金	68,539
ウ 工事負担金	61,710
エ 国庫補助金	309,484
オ 受贈財産評価額	308
カ そ の 他 資本剰余金	30,505
資本剰余金合計	
(2) 利益剰余金	
ア 当年度未処分利益剰余金	476,354
利益剰余金合計	
剩余金合計	<u>897</u>
資本合計	
	897
	<u>477,251</u>
	<u>6,619,346</u>

負債資本合計

36,525,945

債務負担行為に関する調書

事 項	限度額	前年度末までの 支払義務発生(見込)額		当該年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源内訳		
		期 間	金 額	期 間	金 額	国 庫 補 助 金	企 業 債	その他の 負担額
加茂浄化センター監視制御改築工事 (日本下水道事業団委託)	千円 (132,500) 200,000	千円 令和3年度	6,500	千円 令和4年度	126,000	千円 69,025	千円 56,140	千円 835
加茂浄化センターポンプ室等建設工事 (日本下水道事業団委託)	(145,500) 145,500			令和4年度 ～ 令和5年度	145,500	65,750	79,750	
加茂浄化センター水処理設備工事 (日本下水道事業団委託)	(119,250) 119,250			令和4年度 ～ 令和5年度	119,250	59,000	60,250	
加茂浄化センター電気設備工事 (日本下水道事業団委託)	(355,750) 355,750			令和4年度 ～ 令和5年度	355,750	190,150	165,600	
合 計	(753,000) 820,500		6,500		746,500	383,925	361,740	835

注：（ ）内の数値は支出予定額